

(添付資料)

## 連結財務諸表作成の基本となる事項

### 1. 連結の範囲及び持分法の適用に関する事項

#### ① 連結子会社及び持分法適用会社の数

	18年9月中間期	18年3月期	増減
連結子会社数	159	144	+15
持分法適用非連結子会社数	—	—	—
持分法適用関連会社数	22	17	+5
合計	181	161	+20

#### ② 主要会社名

連結子会社：オムロンリレーアンドデバイス（株）、OMRON EUROPE B.V.

持分法適用関連会社：日立オムロンターミナルソリューションズ（株）

#### ③ 連結範囲及び持分法の適用の異動状況

##### 連結子会社

(新規) 15社 (オムロンプレジジョンテクノロジー（株）、  
オムロンサイエンティフィックテクノロジー 他13社)

(除外) 0社

##### 持分法適用関連会社

(新規) 6社

(除外) 1社

### 2. 包括利益

中間（当期）純利益にその他の包括利益を加えた包括利益は、以下のとおりです。

18年9月中間期 8,402百万円 17年9月中間期 51,152百万円 18年3月期 73,801百万円

なお、その他の包括利益には、為替換算調整額、最小退職年金債務調整額、売却可能有価証券未実現損益、デリバティブ純損益の増減額が含まれます。

### 3. その他費用（△収益）－純額－の主な内訳

その他費用（△収益）－純額－の主な内訳は、以下のとおりです。

18年9月中間期	退職給付信託設定益 固定資産除売却損	△10,141百万円 6,340
17年9月中間期	投資有価証券売却益 投資有価証券及びその他の資産の減損	△1,044百万円 692
18年3月期	投資有価証券売却益 投資有価証券及びその他の資産の減損	△4,302百万円 757

### 4. 表示方法の変更

従来、その他費用（△収益）－純額－に含めていた持分法投資損失について、18年9月中間期より少数株主損益の直後に表示しています。

なお、17年9月中間期および18年3月期のその他費用（△収益）－純額－に含まれる持分法投資損失はそれぞれ472百万円および493百万円です。